

まちの話題

楽しく消防署のお仕事体験♪ ファイヤーフェスティバル開催

消防・救急・救助を体験し、消防職員と触れ合いながら防災を学ぶことを目的に「第12回ファイヤーフェスティバル」(東部消防職員共済会主催)が8月12日に、東部消防組合消防署構内で開催されました。参加した親子は、放水や消火器の体験などを通じ、消防の仕事を学びました。救助体験では、救助のため子どもたちが次々と訓練塔の2階からロープで滑り降りました。また、大規模災害時の訓練をかねて、女性防火クラブが炊き出しを実施し、カレーやカキ氷などが振る舞われました。



下水道の普及推進をPR!

毎年9月10日の「下水道の日」にちなんで、下水道整備促進の理解と協力を得ることを目的に、9月7日に事業推進パレードが行われました。パレードが西原町役場を訪れた際に中継式が行われ、崎原盛秀建設部長が「本町の下水道接続率はいまだ低い状況下にある。生活環境の向上、水質の保全を目指し、今後も公共下水道の推進の取組みを強化する。」と激励しました。



世代間交流で、料理教室を開催

調理実習を通じた世代間交流や地産地消の推進などを目的に「平成24年度世代間交流親子で学ぶ料理講習会」(西原町生活研究会主催)が、8月16日に町中央公民館で開催されました。講習会には40名近くの親子が参加。クープイリチーやモズクのスープなど、沖縄ならではの食材を活用した料理を親子で協力して作りしました。



小波津団地自治会を、 健康づくりの取組みで表彰

健康増進事業の一環として実施された健康増進普及月間にちなんで、9月5日にイオン南風原店で「健康づくり表彰式」とミニ健康展が開催されました。

表彰式では積極的に健康づくりに取組み、周囲の保健活動に波及効果がある活動を表彰する「南部地域健康づくり実践優良団体表彰」(沖縄県南部福祉保健所主催)が発表され、小波津自治会(國吉清昂自治会長)が表彰を受けました。同自治会は特定健診の積極的な受診勧奨に取り組むことで町内トップの受診率を誇っており、地域が連携した健康づくり活動が評価されました。ミニ健康展では町食生活改善推進員協議会が、1日に必要な野菜の摂取量である350gをあてるゲームを実施。参加者は普段食べている野菜の量と比較して、食生活を見直す参考にしていました。



なぎなた競技、全国大会で善戦!

東京都で開催された、全日本少年少女なぎなた練成大会の演技競技小学5・6年生の部で、安次嶺心さんと石原かのんさん(ともに西原東小6年)が2位にあたる優良賞に輝きました。2人は「2位は嬉しいけど、(決勝で)負けたことが悔しい。次は勝てるようにがんばりたい。」と報告しました。

また、全国高校総体「2012北信越かがやき総体」のなぎなた競技が福井県で開催され、個人の演技競技の部で玉那覇葉月さん(知念高2年)が5位に入賞しました。玉那覇さんは大会を振り返り「上位は僅差だった。来年までしっかり実力をつけて優勝を目指したい。」と今後の抱負を語りました。



西原台団地自治会が、 防災訓練を実施

災害時の適切な判断と迅速な行動を身につけ、防災に対する住民意識を高めることを目的に、西原台団地自治会(平良秀子自治会長)が、9月8日に防災訓練を実施しました。

同自治会は約1年の検討の末、今年4月に自主防災会を立ち上げており、今回は防災会が中心となって自主的に企画運営された初めての防災訓練です。訓練は浦添警察署や東部消防組合などが協力して実施され、およそ70名が参加。夏の日差しに照らされながら、約7分で避難を完了しました。

訓練の実施にあたって平良会長は「自治会の避難訓練にどれだけの人が参加してくれるか心配していたけど、予想以上の数だった。初めてにしては落ち着いて避難ができた。」と振り返っていました。



3町村の中学生が、 東日本大震災の支援活動

東日本大震災の継続支援を目的として、西原町・中城村・北中城村の4中学校が合同で、8月20日にサンエー西原シティで募金活動などを実施しました。今回の支援活動は、去年に引き続いて2回目。募金活動のほか、沖縄に避難している被災者へ励ましのメッセージを送るため、買い物客などに記入を呼びかけました。

西原東中の生徒会長を務める大城璃紗さん(3年)は「中学生だから大きなことはできないけど、自分たちができることは何かを話し合った。小さなことでも継続していくことが大切。」と語り「今回はもっと支援の心を伝えるために、メッセージを送ろうと提案した。」と、今回の支援活動を説明しました。西原中の生徒会長、山川葉奈さん(3年)は「西原中にも、被災して避難してきた人がいる。同じ学校に被災者がいることも、活動の思いに繋がっている。」と話し、支援活動に取り組みました。



慶祝を迎えた方に、記念品を贈呈 一屋良さんご夫婦。2人揃ってトーチカのお祝い

今年度、西原町では68名がトーチカ(米寿)を、22名がカジマヤーを、8名が新100歳を迎えました。(平成24年9月1日時点)西原町では敬老のお祝いとして毎年、トーチカ、カジマヤー、新100歳を迎えた方に対して上間明町長から記念品を贈呈し、お祝いしています。

屋良朝信さんヨシさんご夫婦は、今年揃ってトーチカを迎えたおめでたい夫婦です。5人の子どもと9名の孫、8名のひ孫に恵まれ、楽しく過ごしているお2人ですが、山あり谷ありの人生を過ごしてきたそうです。朝信さんは「八幡(福岡県)の製鉄所で働いていたから戦争を生き残ることができた。徴兵前の検査は受けたが、ぎりぎり徴兵されなかった。だから(ヨシさんと)出会うことができたんだ。」と若いころを振り返りました。長年農業に従事して生計を立ててきたお2人は「野菜や菊を作って、朝の5時から2人で市場に通って売りに出していた」そうです。今でも自分たちが食べる程度の野菜を栽培しており、健康の秘けつは「朝早起きして畑仕事」と教えてくれました。長年夫婦で連れ添って歩んできた屋良さんご夫婦。これからも末永く元気に過ごしてください。

